

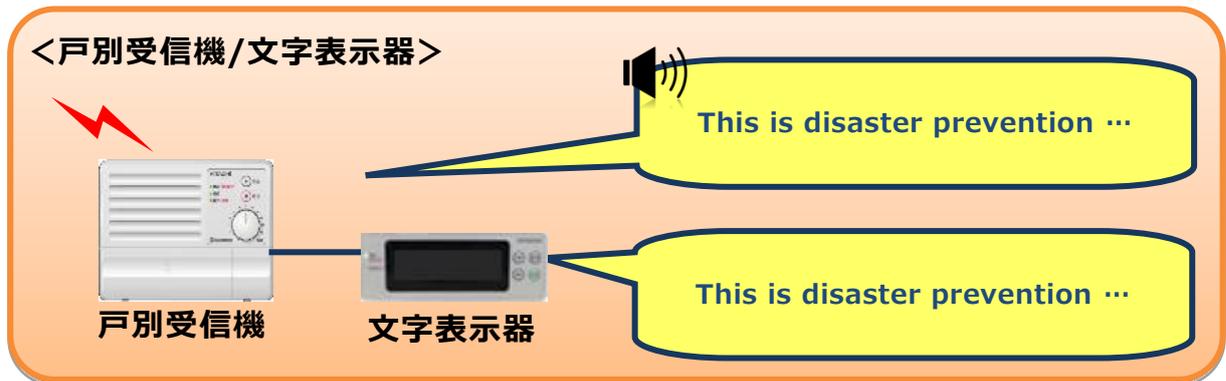
防災行政無線の戸別受信機等の情報伝達手段に係る実証事業

常総市は、総務省と協力し、高齢者や外国人等向けに、防災行政無線の戸別受信機やスマートフォンなどの情報端末を用いた情報伝達手段の実証実験を、今年12月から開始します。

■主な特長と検証内容

1. 多言語による音声データや文字情報の伝達機能

各家庭に設置される戸別受信機を利用し、日本語や英語、ポルトガル語、スペイン語での音声通報、文字通報を行い、防災行政無線の伝達認識率、内容理解度の調査を行います。



2. 情報端末への情報伝達機能

常総市が運用しているポータルサイトから、スマートフォンなどの情報端末へ日本語や英語、ポルトガル語、スペイン語で防災情報を提供することができます。実証実験では、外国人への伝達認識率、内容理解度の他、ポータル投稿の操作性、投稿内容の把握の確実性、避難所案内の有効性の調査を行います。



3. 家庭用テレビへの情報伝達機能

防災行政無線の親局装置より緊急通報を行った際、情報伝送装置によりテレビを自動的に起動し、あらかじめ設定している言語で通報内容をテレビ画面に文字表示させ、音声も再生することができます。実証実験では伝達認識率、内容理解度の調査を行います。

